

目的

- ドローンを始めとする次世代高度技術開発への挑戦
- 上士幌町の新たな観光資源の創出
- 企業プロモーション

背景・課題

- ドローンによる夜間捜索支援コンテストやドローンによる配送実証、観光商品開発の実績
- 冬季観光のオフシーズン、コロナ禍における観光客の減少

事業のポイント



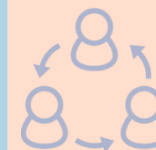
- ✓ 国内企業のドローンショーでは最大規模の300機(昨年12月時点)のドローンによる演出
- ✓ 「とかちフレーズミュージック」によるクリスマスコンサート同時開催

期待される効果



- ✓ 地域住民のドローン等の社会需要性の向上
- ✓ 周辺飲食店や宿泊施設などの活性化

推進体制



- <主催>
クリスマスドローンショー実行委員会
<ドローン運営>
株式会社レッドクリフ
<特別協賛>
カミシホロホテル、株式会社TKF
<協力>
上士幌町

概要

- ✓ 2021年冬、国内最大級300機のドローンが上士幌の夜空を彩るクリスマスイベントが道の駅かみしほろにて開催されました。ドローンの新しいジャンルとして閉塞感が漂うコロナ禍の中で、人々に夢が希望を与えるエンターテインメントです。
- ✓ ドローンショーは連日2部構成で行われ、1部ではダイナミックな演出を楽しめる3Dデザインショー、2部はクリスマスらしいサンタクロースや町の公式キャラクター「ほろんちゃん」等が登場する大迫力のアニメーションが夜空を彩りました。
- ✓ 第1部と第2部の間には、道の駅館内で「とかちフレーズミュージック」プロデュースによる地元十勝の演奏家によるクリスマスコンサートが開催され、クラシックの名曲や定番のクリスマスソングが演奏されました。



- ✓ 普段17時で閉館する道の駅は、営業時間を延長し「トカトカ」や「The Sand」では人気のパンの詰め合わせセットや温かいコーヒーが振る舞われ、館外では十勝のグルメが楽しめるフードコートも出店されました。
- ✓ 10日間の開催で、来場者は累計12,300人の来場者が上士幌の夜空を彩るドローンショーを楽しみ、参加者満足度は93.6%と大盛況の中終了しました。
- ✓ 今回のドローンショーは、毎年上士幌町で開催されるロボットによる山岳遭難救助コンテストに参加し、優秀な成績を収めたチームが実施しており、コンテストからの縁がつながっています。
- ✓ 町としては、これまでの蓄積と、これを契機にドローンをはじめとする次世代高度技術開発にチャレンジを志す皆さまを応援していきたいと考えております。

